

Panasonic®

LUMIX



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3 ~ 8ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、本機のCD-ROM（付属）に記録された「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。(72ページ)
- 取扱説明書、取扱説明書 活用ガイドは、スマートフォンにダウンロードして読むこともできます。(74ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015

取扱説明書 デジタルカメラ

品番 DMC-TZ70

安全上のご注意

準備

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

その他・Q&A

SQT0611
M1214KZ0

目次

準備

本機の特長	9
ご使用の前に	10
付属品	11
各部の名前と働き	12
バッテリーを充電する	14
内蔵メモリー／カードについて	17
電源を入れて、時計を設定する	18
カメラの構え方	19
ファインダー撮影について	19

撮る

撮影モードについて	20
コントロールリング／コントロールダイヤルを使う	20
[A]カメラにおまかせで撮る	21
[P]お好みの設定で撮る	23
動画を撮る	24
[A/S/M]絞り値やシャッタースピードを決めて撮る	26
構図を決めて撮る（[構図ガイド]）	27
水準器を使う	27
ズームを使って撮る	28
フラッシュを使って撮る	29
自動でピントを合わせる	29
近づいて撮る	31
手動でピントを合わせる	32
露出を補正して撮る	33
露出を自動的に変えながら撮る	33
連写する	34
セルフタイマーで撮る	34
メニューを使って設定する	35
撮影に便利なメニュー	36
[♪]画像効果を変えて撮る	40

必ずお読みください

安全上のご注意.....3～8

[SCN]場面に合わせて撮る.....40

[□]パノラマ写真を撮る.....41

コントロールリング／コントロールダイヤルの
設定を変更する.....42

クイックメニューを使う.....43

ファンクションボタンにお好みの機能を登録する.....43

見る

画像を見る.....44

写真や動画を消す.....45

撮影した写真をレタッチする.....46

Wi-Fi・NFC

Wi-Fi®機能/NFC機能について.....47

Wi-Fi機能/NFC機能でできること.....48

スマートフォン／タブレットとつないで使う.....49

その他・Q&A

パソコンに画像を保存する.....53

モニター／ファインダーの表示一覧.....55

メッセージ表示.....57

メニュー一覧.....59

Q&A 故障かな？と思ったら.....63

使用上のお願いとお知らせ.....67

無線LAN使用上のお願い.....69

仕様.....70

さらに詳しい説明は.....72

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内.....73

パナソニックスマートアプリのご案内.....74

保証とアフターサービス.....75

- 本書で説明する製品の外観と仕様、製品のイラストや画面は、改良により実物と異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ
が大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれ
がある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産
の損害が発生するおそれが
ある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーパック^{*}は、誤った使いかたをしない
(*以降は、「バッテリー」と表記)



- 液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。
- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中に入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になると
ころに放置しない
- 端子部(+)・(-)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起きたら、お買い上げ
の販売店にご相談ください。液が身体や衣服に
ついたら、水でよく洗い流してください。液が
目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐ
にきれいな水で洗い、医師にご相談ください。
- 外装ラベルのはがれたバッテリーは使わない
- バッテリーには安全のため外装ラベルをかぶ
せています。これをはがすと、ショートによ
る火災の原因になりますので、絶対にはがさ
ないでください。

バッテリーの充電は、本体または専用充電器を使用する



指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・
発火・破裂などを起こし、けがをする原因にな
ります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

電源プラグは、正しく扱う



感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

ACアダプターは、誤った使いかたをしない



感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V ~ 240 V以外)で使わない
- むれた手で抜き差ししない

⚠ 警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



- ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

乗り物の運転中に使わない



- 事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない



- 事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない



本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど^{*}の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

^{*} 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない



- 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



- 火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない



警告

雷が鳴ったら、触れない



感電の原因になります。

- 本体やACアダプターには、金属部があります。

航空機内では電源を切る*



運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
* やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

 誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

 視力障害などの原因になることがあります。
・乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

 やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
・発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない



火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す



通電状態またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない



集光により、内部部品が破損し、火災の原因になります。

⚠ 注意

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

 病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

 そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
• 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

 • 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
• テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

 長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

 お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
• お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

本機の特長

クリアで見やすいモニターとファインダー

本機は約104万ドットのモニターと、約116万ドット相当のファインダーを搭載していますので、高精細な映像で被写体をくっきりと確認できます。

ファインダーに目を近づけると、アイセンサーが働き、モニター表示からファインダー表示に自動で切り替えます。

P.19

操作する楽しみ



「コントロールリング」と「コントロールダイヤル」には、撮影モードごとに設定が割り当てられており、回すだけで設定を変更できます。さらに、「コントロールリング」と「コントロールダイヤル」のそれぞれに、よく使う別々の設定を割り当て、使いやすくカスタマイズすることもできます。



P.20, 42

ズーム

本機は広角24 mm^{*}レンズを搭載しているので、狭い場所での集合写真やワイドな風景写真を撮影できます。また、30倍の光学ズームを使えば、遠くの小さな被写体も大きく撮影できます。さらに、「iAズーム」を使用すれば、画質の劣化を抑えて60倍までズームできます。

* 焦点距離は35 mmフィルムカメラ換算です。

P.28

P.38

一定の時間間隔で自動的に撮影

「インターバル撮影」機能を使うと、あらかじめ設定した時間間隔で、自動的に写真を撮影することができます。動植物などの経過観察や風景などの定点撮影に役立ちます。撮影した画像から、コマ撮り動画を作成することもできます(インターバル動画作成)。

準備

アート感覚を楽しむ

「クリエイティブコントロールモード」では、画面上でさまざまな画像効果を確認しながら自分の思い描く写真や動画を撮影できます。本機には15種類の画像効果が用意されています。

P.40

カメラまかせで、かんたん・キレイ

iA（インテリジェントオート）モードを使うと、本機が自動でシーンを判別し、最適な撮影設定に切り替えます。

P.21

Wi-Fi®接続がスムーズに



パスワードを入力しなくとも、本機とスマートフォン/タブレットを簡単にWi-Fi接続することができます。

スマートフォンで本機をリモート操作したり、スマートフォンに本機で撮影した画像を転送したりすることもできます。

P.47, 48

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
- レンズ部やモニターを強く押さえつける

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

ゴムやビニール製品に本機を接触させたままにしないでください。

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特に気をつけください。

- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■露付きについて

(レンズやモニター、ファインダーが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかつた場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

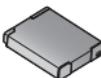
付属品



付属品をご確認ください。
(品番は2015年1月現在)

バッテリーパック DMW-BCM13

- ・充電してからお使いください。
(本書では、「バッテリー」と表記します)



ACアダプター VSK0771

- ・充電、撮影および再生に使用できます。
(本書では、「ACアダプター（付属）」と表記します)



ハンドストラップ VFC4297



USB接続ケーブル K1HY08YY0031



CD-ROM

- ・ソフトウェア
- ・取扱説明書 活用ガイド
(パソコンにインストールしてお使いください)



- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- **メモリーカードは別売です。**
(本書では「カード」と表記します)

■別売品のご紹介 (品番は2015年1月現在)

バッテリーパック DMW-BCM13

バッテリーチャージャー^{*1} DMW-BTC11

(充電時間：約165分)

ACアダプター^{*2} DMW-AC9

(充電時間：約140分)

ソフトケース^{*3} DMW-CT60

USB接続ケーブル DMW-USBC1

AVケーブル DMW-AVC1

HDMIマイクロケーブル RP-CHEU15A、RP-CHEU20A

^{*1} 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き

^{*2} ACアダプター（別売：DMW-AC9）を使うと、本機にバッテリーを入れなくても撮影や再生ができます。

^{*3} ケースを装着した状態ではNFC機能を使用することはできません。

準備

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

各部の名前と働き

電源ボタン(P.18)

本機の電源を入り切れします。

動画ボタン(P.24)

動画を撮影します。

ズームレバー(P.28)

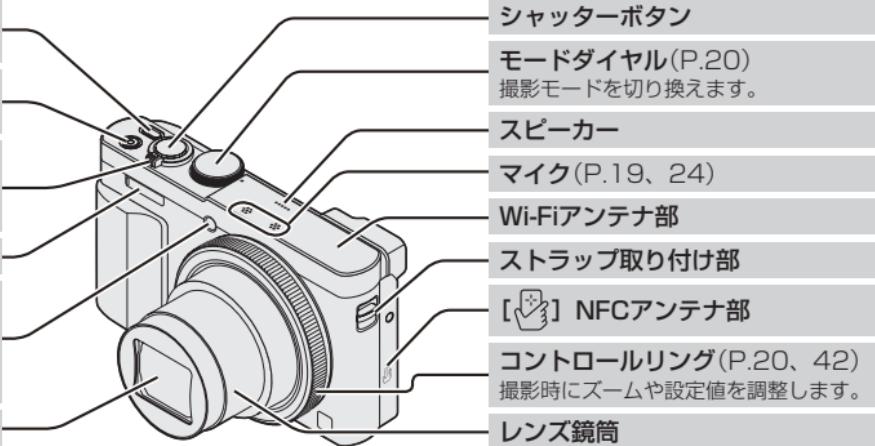
遠くの被写体を大きく写したいときに操作します。

フラッシュ発光部(P.19、29)

セルフタイマーランプ(P.34) / AF補助光ランプ(P.19)

セルフタイマー設定時や暗所でAFが動作するときに発光します。

レンズ部



モニター(P.19、55)

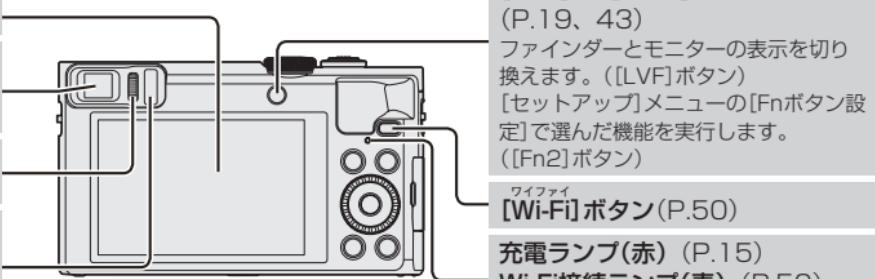
ファインダー (LVF) (P.19、55)
本文中は、LVFを「ファインダー」と表記します。

視度調整ダイヤル(P.19)

ファインダー内のピントを調整します。

アイセンサー (P.19)

ファインダーに目や物を近づけると、自動的にファインダー表示に切り替えます。



[LVF] / ファンクション
(P.19、43)
[Fn2] ボタン

ファインダーとモニターの表示を切り替えます。([LVF] ボタン)
[セットアップ]メニューの[Fnボタン設定]で選んだ機能を実行します。
([Fn2] ボタン)

ワイファイ [Wi-Fi] ボタン(P.50)

充電ランプ(赤) (P.15)

Wi-Fi接続ランプ(青) (P.50)

機能によってランプの色が異なります。

ファンクション [Fn1]ボタン(P.43)

[セットアップ]メニューの[Fnボタン設定]で選んだ機能を実行します。

カーソルボタン

メニュー画面では、カーソルを移動します。(本書では、操作するボタンを▲▼◀▶で表しています。)

撮影時は、次の操作ができます。

(撮影モードによっては設定できない場合があります。)

[] (▲) : 露出補正(P.33)

[] (▶) : フラッシュ(P.29)

[] (ドライブモード*) (▼) : 連写(P.34)、オートプラケット(P.33)、セルフタイマー (P.34)

[] (◀) : マクロ撮影(P.31)、マニュアルフォーカス(P.32)

* シャッター ボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

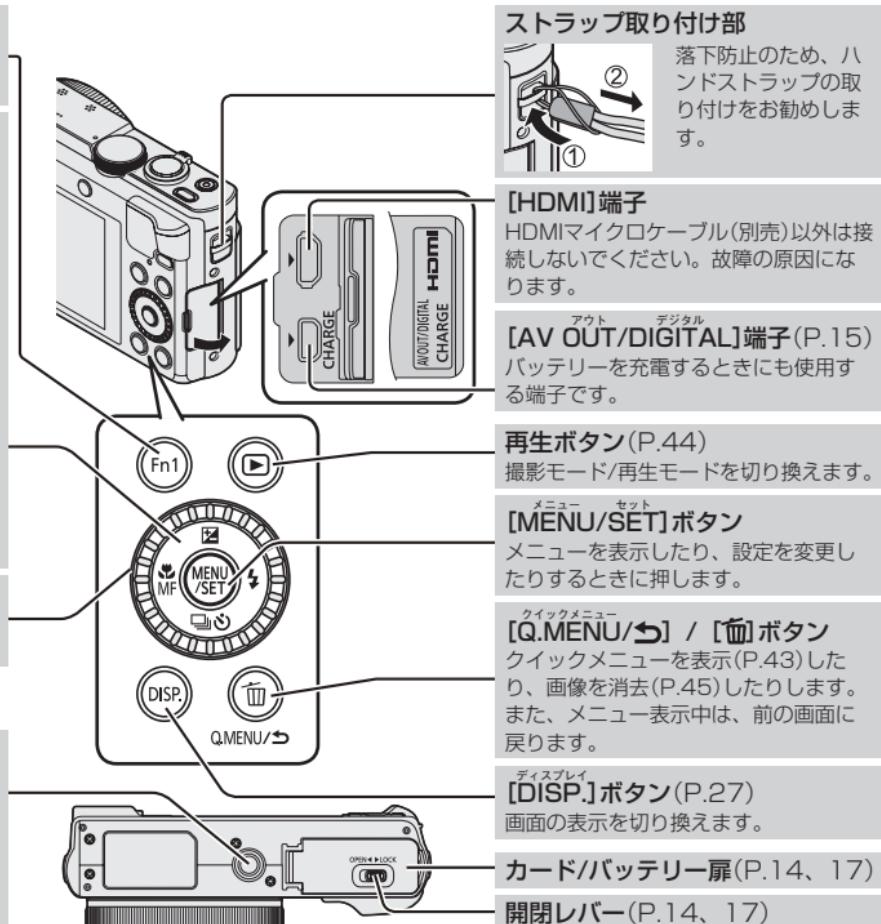
コントロールダイヤル(P.20, 42)

設定項目を選択したり、設定値を変更したりできます。

三脚取り付け部

ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかりと固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。

三脚の種類によっては適切に取り付けできない場合があります。



ストラップ取り付け部

落下防止のため、ハンドストラップの取り付けをお勧めします。

[HDMI]端子

HDMIマイクロケーブル(別売)以外は接続しないでください。故障の原因になります。

[AV OUT/DIGITAL]端子(P.15)

バッテリーを充電するときにも使用する端子です。

再生ボタン(P.44)

撮影モード/再生モードを切り替えます。

[MENU/SET]ボタン

メニューを表示したり、設定を変更したりするときに押します。

クイックメニュー [Q.MENU/◀] / [▲]ボタン

クイックメニューを表示(P.43)したり、画像を消去(P.45)したりします。また、メニュー表示中は、前の画面に戻ります。

[DISP.]ボタン(P.27)

画面の表示を切り換えます。

カード/バッテリー扉(P.14, 17)

開閉レバー(P.14, 17)

バッテリーを充電する

本機専用のACアダプター（付属）、USB接続ケーブル（付属）、バッテリーを使用してください。

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

- ACアダプター（別売：DMW-AC9）でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
- バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC11）でも充電できます。

■本機で使えるバッテリー（2015年1月現在）
本機で使えるバッテリーはDMW-BCM13です。

■電源の供給（給電）について

本機にバッテリーを入れた状態でACアダプター（付属）を使用して本機の電源をオンにすると、USB接続ケーブル（付属）を経由して、電源コンセントから電力を供給（給電）することができます。

- 撮影中はバッテリーを消耗する場合があります。バッテリー残量がなくなると、電源が切れます。
- バッテリーが入っていないときは、給電はされません。
- ACアダプター（付属）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。

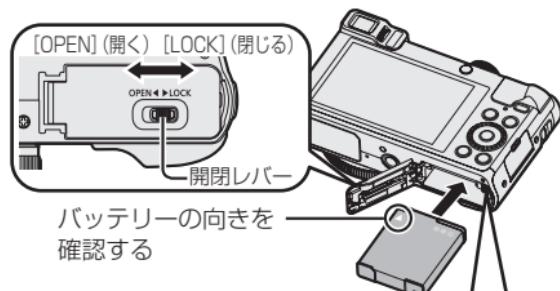
バッテリーを入れる

- 開閉レバーを[OPEN]側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開ける

2 バッテリーを奥まで入れる

- バッテリーを奥まで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する

- カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを[LOCK]側にスライドさせる



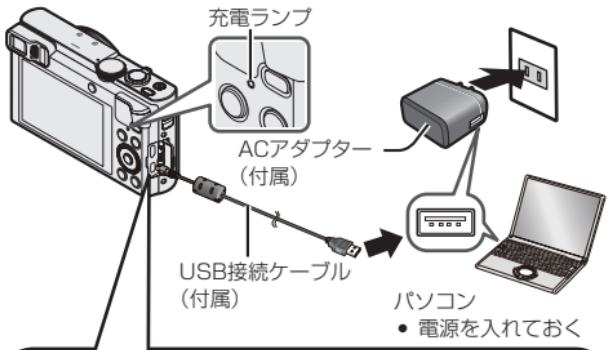
- バッテリーを取り出すとき
レバーを矢印方向へ引く
- バッテリーの取り出しへ、
電源を切り、画面のLUMIX表示
が消えてから行ってください。



充電する

充電は周囲の温度が10 °C～30 °C（バッテリーの温度も同様）のところで行なうことをお勧めします。

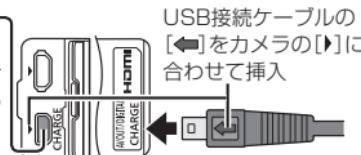
電源が切れていることを確認してください。



充電するときは、USB接続ケーブル(付属)を
[AV OUT/DIGITAL]端子に接続してください。

[AV OUT/DIGITAL]
端子

- カメラを立てたときにいちばん下にある端子です。



- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

■電源コンセントから充電する場合

本機をUSB接続ケーブル(付属)でACアダプター(付属)につなぎ、ACアダプターを電源コンセントに差し込む。

■パソコンから充電する場合

本機をUSB接続ケーブル(付属)でパソコンのUSB端子につなぐ。

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコンのUSB端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。

充電ランプ(赤色)表示について

点灯：充電中

消灯：充電終了(充電終了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください)

点滅：充電エラー

(対処方法は63ページをお読みください)

バッテリーを充電する

続き

■充電時間について

ACアダプター（付属）使用時	約170分
----------------	-------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。

■海外旅行先で使う

ACアダプター（付属）は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V ~ 240 V)、電源周波数(50 Hz, 60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■しばらく使わないとき

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40%RH～60%RH）
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなつてから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。

●付属のUSB接続ケーブルまたは当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使わないでください。故障の原因になります。

●付属のACアダプターまたは当社製ACアダプター（別売：DMW-AC9）以外は使わないでください。故障の原因になります。

●ACアダプター（付属）とUSB接続ケーブル（付属）は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

●使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。（長期間放置すると、バッテリーは消耗します）

●バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）

●停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。USB接続ケーブル（付属）を抜き、接続し直してください。

●ACアダプター（付属）やパソコンにつないでも本機の充電ランプが点灯しない場合は、正しく接続しているか確認してください。（P.15）

●満充電後のバッテリーを再度充電しようとすると、約15秒間充電ランプが点灯します。

●本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。温度が高すぎたり低すぎたりすると、使用時間が短くなります。

●使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。

●バッテリーの外装ラベルをはがしたり、傷つけたりしないでください。

内蔵メモリー / カードについて

カードが入っていないときは、内蔵メモリー（約86 MB）に撮影した画像を保存できます。

- ・アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプターを取り外さないでください。
- ・内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。

■ 本機で使えるカード(別売)の種類 (最新情報 : <http://panasonic.jp/support/dsc/>)

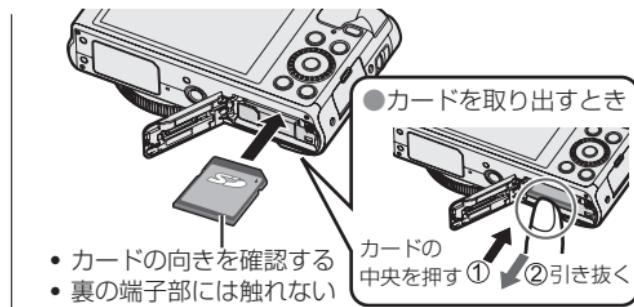
カードの種類	容量	備考
SDメモリーカード miniSDカード* microSDカード*	8 MB ～2 GB	<ul style="list-style-type: none">・それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。・SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
SDHCメモリーカード microSDHCカード*	4 GB ～32 GB	<ul style="list-style-type: none">・動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class 4」以上のカードを使用してください。 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。
SDXCメモリーカード	48 GB、 64 GB	<ul style="list-style-type: none">・左記の容量以外のカードは使えません。

* 専用のアダプターが必要です。

カードを入れる・取り出す

電源が切れていることを確認してください。

- 1 開閉レバーを[OPEN]側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開ける(P.14)
- 2 カードを奥へ、「カチッ」と音がするまで押し込む
- 3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを[LOCK]側にスライドさせる(P.14)



電源を入れて、時計を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。

- ACアダプター（付属）との接続は解除しておいてください。

1 電源ボタンを押す



- お買い上げ時、電源を入れると[時計を設定してください]と表示されます。

2 上記を表示中に[MENU/SET]ボタンを押す

3 日時と表示方法を設定する



- ①▲▼で年を合わせ、▶を押す
 - ②▲▼で月を合わせ、▶を押す
 - ③同じように日・時・分を合わせ、▶を押す
 - ④▲▼で年月日の表示順を選び、▶を押す
 - ⑤▲▼で時刻表示形式を選び、
[MENU/SET]ボタンを押す
- 中止するとき→[Q.MENU/◀]ボタンを押す

4 [MENU/SET]ボタンを押す

- 中止するとき→[Q.MENU/◀]ボタンを押す

5 [ホームエリアを設定してください]と表示されたら、[MENU/SET]ボタンを押す

6 ◀▶ でお住まいの地域を選び、 [MENU/SET]ボタンを押す



- 日時を合わせ直すときは、[セットアップ]メニューの
[時計設定]で設定してください。(P.35)

カメラの構え方



- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開いてください。
 - レンズを触らないでください。
 - 動画撮影の際、マイクを指で塞がないでください。
 - シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようお気をつけください。
 - 落下防止のため、ハンドストラップの使用をお勧めします。
- セルフタイマー撮影時やインターバル撮影時、リモート撮影時など、カメラを構えずにズームを使うときは、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがありますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定してください。

ファインダー撮影について

ファインダーを使用すると、周囲が明るくても被写体を確認することができます。

■ モニターとファインダーを切り換える

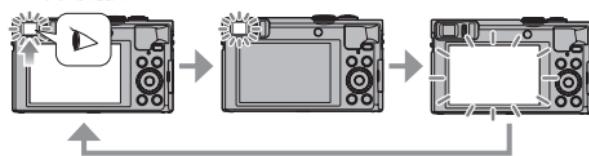
- [LVF]ボタンを押す



ファインダー /
モニター
自動切換*

ファインダー表示

モニター表示

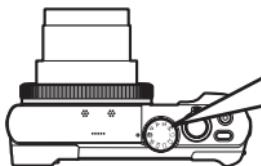


* ファインダー / モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換えます。

■ 視度調整について

使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

撮影モードについて



使うモードに
確実に合わせる



IA インテリジェントオートモード(P.21)

カメラにおまかせで撮影します。

IA インテリジェントオートプラスモード(P.22)

明るさや色合いもお好みに調整できます。

P プログラムAEモード(P.23)

絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮影します。

A 絞り優先AEモード(P.26)

絞り値を決めて撮影します。

S シャッター優先AEモード(P.26)

シャッタースピードを決めて撮影します。

M マニュアル露出モード(P.26)

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

C1 カスタムモード

C2

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

□ パノラマモード(P.41)

パノラマ写真を撮影します。

SCN シーンモード(P.40)

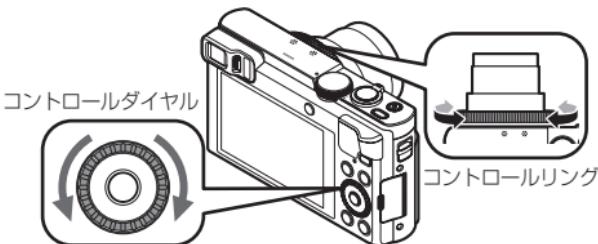
撮影シーンに合わせて撮影します。

⌚ クリエイティブコントロールモード(P.40)

お好みの画像効果を選んで撮影します。

コントロールリング/コントロールダイヤルを使う

コントロールリング/コントロールダイヤルを使うと、よく使う操作や設定をダイレクトに操ることができます。



お買い上げ時は、撮影モードによって動作が異なります。

撮影 モード	設定項目	
	コントロールリング ^{*1}	コントロールダイヤル
I A		ステップズーム(P.28)
P		プログラムシフト
A		絞り調整
S		シャッタースピード調整
M	絞り調整	シャッタースピード調整 ^{*2}
□		画像効果変更
SCN		シーン変更
⌚		画像効果変更

*1 マニュアルフォーカス設定時、コントロールリングはピント調整に割り当てられます。

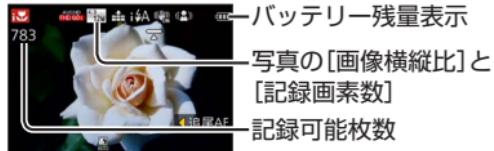
*2 ▲を押すと、絞り調整とシャッタースピード調整とを切り換えることができます。

●コントロールリング/コントロールダイヤルはそれぞれをお好みの設定に変更することもできます。(P.42)

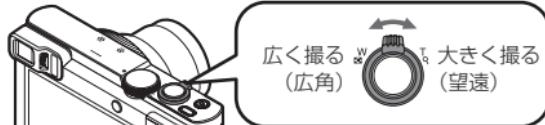
[iA]カメラにおまかせで撮る

インテリジェントオートモードを使うと、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる



2 ズームレバーで、写す範囲を調整する



- 「iAズーム」が自動的に働きます。(P.28)
- コントロールリングまたはコントロールダイヤルを操作すると、ステップズームが働きます。(P.28)
- ▶を押すと、フラッシュの設定([iA](iオート)または[⌚](発光禁止))を選択できます。(P.29)

3 シャッターボタンを押して撮影する



■自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。

	[i人物]		[i赤ちゃん]		[i夜景&人物]
	[i風景]		[i夜景]		[i手持ち夜景]
	[i夕焼け]		[iマクロ]		[i料理]
	どのシーンにも当てはまらないとき				

[IA] カメラにおまかせで撮る

続き

■背景をぼかす

インテリジェントオートモードでも絞り優先AEモードのように、背景のボケ具合を簡単に調整することができます。

1 ▲を押す

2 コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して、背景のボケ具合を調整する



背景のボケ具合 | 背景をぼかす ⇔ 背景にもピントが合う

- ◀▶ でも調整できます。
- 自動調整時はアイコンに[AUTO]が表示されます。
- 自動調整に戻すとき→[Q.MENU/◀]ボタンを押す

3 [MENU/SET] ボタンを押す

明るさや色合いを変えて撮る (インテリジェントオートプラスモード)

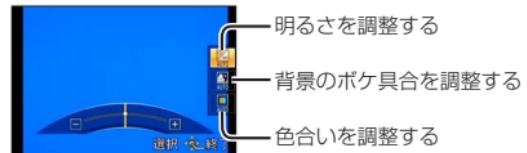
インテリジェントオートプラスモード(iA+モード)にすると、明るさや色合いも簡単に調整できます。

■ インテリジェントオートプラスモードに切り換える

- ① [MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶ で [IA] (iAモード) メニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ◀▶ で [IA+] (インテリジェントオートプラス) を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 明るさや背景のボケ具合、色合いを調整する

- ① ▲を押す
- ② ▲▼で調整する項目を選び



- 自動調整時はアイコンに[AUTO]が表示されます。
- ③ コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して調整する
 - ◀▶ でも調整できます。
 - 自動調整に戻すとき→[Q.MENU/◀]ボタンを押す
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す

[P]お好みの設定で撮る

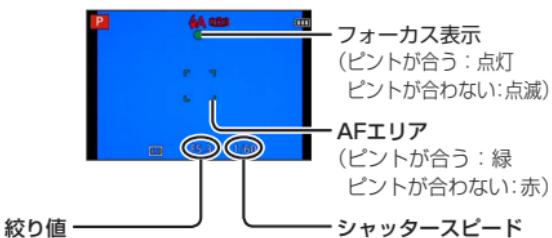
プログラムAEモードでは、絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮影します。

[撮影] メニューなどで各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 ズームレバーで、写す範囲を調整する (P.28)

3 シャッターボタンを押して撮影する



プログラムシフトを使う

同じ露出(明るさ)になるように、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。この機能を使うと、プログラムAEモードでもシャッタースピードや絞り値を調整して撮影できます。

1 シャッターボタンを半押しする

- 画面にシャッタースピードと絞り値が黄色で表示されます。

2 数値が黄色で表示されている間(約10秒間)に、コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値の組み合わせを選ぶ



プログラムシフト中は、[P↑]が表示されます。

- ・プログラムシフトを解除するときは、[P]が消えるまでコントロールリングまたはコントロールダイヤルを回してください。

動画を撮る

1 撮影モードを選ぶ(P.20)

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 次の場合、動画を撮影できません。
 - ・パノラマモード
 - ・インターバル撮影時
 - ・シーンモードの[スライド3D撮影]
 - ・クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス] [クロスフィルター]

2 ズームレバーで、写す範囲を調整する(P.28)

3 動画ボタンを押して、撮影を開始する



4 もう一度動画ボタンを押して、終了する

- 内蔵メモリーに記録できるのは、[MP4]の[VGA]のみです。
- AVCHDの[FHD]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
- MP4で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。(MP4の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 動画は写真に比べて撮影範囲が狭くなる場合があります。また、画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[セットアップ]メニューの[動画記録枠表示]を[ON]にすると、撮影できる範囲が表示されます。(P.35)
- 動画撮影中も、ズーム操作ができます。
 - ・ズームスピードは通常より遅くなります。
 - ・ズームレバーやコントロールリング/コントロールダイヤルの操作音が記録される場合があります。
- シャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真を撮ることができます。
 - ・1回の動画撮影中に記録可能な写真枚数は最大10枚です。
 - ・次の場合は、写真を記録できません。
 - [記録方式]が[MP4]で、[画質設定]が[VGA/30p]の場合
 - ハイスピード動画の場合

■動画アイコン

記録方式——AVCHD
サイズ——FHD 60i——フレームレート

[記録方式]

本機はAVCHD、MP4の2種類の記録方式で動画撮影ができます。[動画]メニューの[記録方式]で記録方式を変更できます。(P.35)

■設定

AVCHD	高精細なハイビジョン映像を記録できます。ハイビジョン対応テレビでの鑑賞や、ディスクへの保存に適した記録方式です。
MP4	単体の動画ファイルとして保存されるため、パソコンでの編集やWebサービスへのアップロードに適した記録方式です。

[画質設定]

[動画]メニューの[画質設定]で記録する動画の画質を設定できます。(P.35)

■設定

記録方式が[AVCHD]のとき

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
FHD/60p*	1920×1080	60p	約28 Mbps
FHD/60i	1920×1080	60i	約17 Mbps
HD/60p	1280×720	60p	約17 Mbps

* [FHD]の[60p]はAVCHD規格に準拠した最高画質(本機において)で記録できる1920×1080/60p記録モードです。(AVCHD Progressive)

記録方式が[MP4]のとき

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
FHD/30p	1920×1080	30p	約20 Mbps
HD/30p	1280×720	30p	約10 Mbps
VGA/30p	640×480	30p	約4 Mbps

撮
る

[A/S/M]絞り値やシャッタースピードを決めて撮る

絞り値やシャッタースピードを設定します。

■露出メーター

コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回すと、画面下部に表示されます。



- 赤く表示されている領域は、適正露出にならない組み合わせです。

A：絞り優先AEモード

絞り値を固定して撮影します。

大きい値にすると手前から背景までピントを合わせることができます。

小さい値にすると背景をぼかすことができます。

シャッタースピードは、設定した絞り値に合わせて自動調整されます。

- 1 モードダイヤルを[A]に合わせる

- 2 コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して絞り値を選ぶ

S : シャッター優先AEモード

シャッタースピードを固定して撮影します。

速くすると被写体のブレを抑えて撮影できます。

遅くすると被写体の動きを表現できます。

絞り値は、設定したシャッタースピードに合わせて自動調整されます。

- 1 モードダイヤルを[S]に合わせる

- 2 コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回してシャッタースピードを選ぶ

M : マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

■マニュアル露出アシスト(目安)

画面左下に表示されます。



適正露出



明るく写る



暗く写る

- 1 モードダイヤルを[M]に合わせる

- 2 コントロールリングを回して絞り値を、コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを選ぶ

構図を決めて撮る([構図ガイド])

[構図ガイド]のガイドラインを参考にすると、バランスのとれた印象的な写真を簡単に撮ることができます。

- ・パノラマモードでは構図ガイドを使用できません。

1 [Fn1]ボタン(P.13)を押す

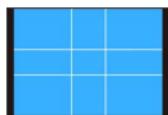
- ・お買い上げ時は[Fn1]ボタンに[構図ガイド]が設定されています。[Fn1]ボタンの設定を変更した場合は、[セットアップ]メニューから[構図ガイド]を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。(P.35)

2 ▲▼で表示するガイドラインを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- ・コントロールダイヤルでも選択できます。
- ・[DISP.]ボタンを押すたびに、構図の説明、作例を順番に表示します。
- ・ガイドラインを表示しない場合は、[ガイドラインなし(No Guide)]を選んでください。

■構図ガイドの種類とガイドラインの例

[黄金分割]



[対角線]



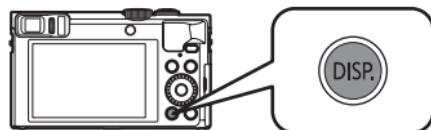
[放射線]



水準器を使う

風景写真など、カメラの傾きが気になるときは、水準器表示を参考にしてください。

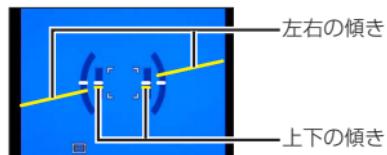
1 [DISP.]ボタンを押して表示を切り換える



- ・画面表示が切り換わって、水準器が表示されるまで、押してください。

■水準器の見方

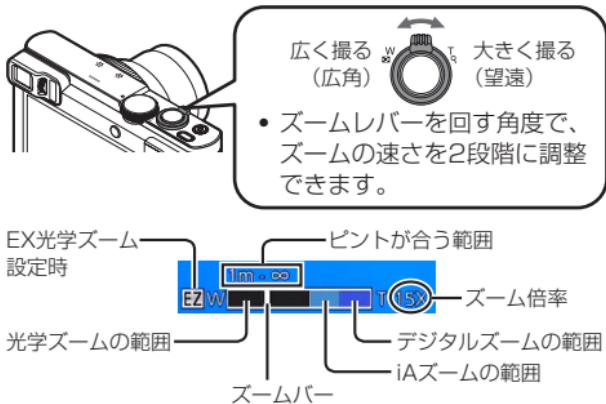
黄色い線が現在の傾き具合を表しています。白い線に合わせるように本機の傾きを補正してください。



- ・カメラの傾きがほぼない状態では、水準器は緑色に変わります。

ズームを使って撮る

ズームを使って、写す範囲を調整できます。



- EX光学ズーム(EZ)、iAズームおよびデジタルズームを併用したときの表示例です。

■コントロールリング/コントロールダイヤルでズームを使う

コントロールリング/コントロールダイヤルに割り当てる設定を[ズーム]にすると、ズーム操作ができるようになります。(P.42)

- セルフタイマー撮影時やインターバル撮影時、リモート撮影時など、カメラを構えずにズームを使うときは、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがありますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定してください。

ズームの種類と用途

■光学ズーム

[撮影]メニューの[記録画素数]で[EZ]の付いていないものを選んだ場合、最大30倍までズームできます。

■EX光学ズーム

[撮影]メニューの[記録画素数]で[EZ]の付いたものを選んだ場合、最大58.6倍までズームできます。

■iAズーム

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。[撮影]メニューの[iAズーム]を[ON]にしてください。

■デジタルズーム

最大ズーム倍率がさらに4倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。[撮影]メニューの[デジタルズーム]を[ON]にしてください。

- iAズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が2倍までに制限されます。

■ステップズーム

コントロールリング/コントロールダイヤルを回すたびに、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。(P.42)

- [撮影]メニューの設定方法は、35ページをお読みください。

フラッシュを使って撮る

- 1 [Flash]ボタン(▶)を押す
- 2 ▲▼で種類を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

	オート <ul style="list-style-type: none">発光する/しないを自動で判断
	赤目軽減オート <ul style="list-style-type: none">発光する(赤目を抑える) /しないを自動で判断暗い場所で人物を撮るときに適しています。
	強制発光 <ul style="list-style-type: none">必ず発光する逆光または蛍光灯など照明の下で撮るときに適しています。
	赤目軽減スローシンクロ <ul style="list-style-type: none">発光する(赤目を抑え、シャッタースピードを遅くして明るく撮る) /しないを自動で判断夜景を背景に人物を撮るときに適しています。 (三脚の使用をお勧めします)
	発光禁止 <ul style="list-style-type: none">発光しないフラッシュ禁止の場所で撮るときに適しています。

* インテリジェントオートモードのみ

● フラッシュ発光部(P.12)を手で塞いだり、近くで見たりしないでください。

自動でピントを合わせる

オートフォーカスが有効な場合、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。撮影モードや[オートフォーカスマード]の設定によって、ピントの合わせ方が異なります。

- 1 [MF]ボタン(◀)を押す
- 2 ▲▼で[AF]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ [オートフォーカスマード]を切り換える

- ① [MENU/SET]ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶で[撮影]メニューを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- ③ ▲▼で[オートフォーカスマード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- ④ ▲▼でオートフォーカスマードの項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

	(顔認識) 人物を正面から撮るとき
	(追尾AF) 動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき(P.30)
	(23点) 被写体が中央にないとき
	(1点) ピントを合わせる位置が決まっているとき(P.30)

自動でピントを合わせる

続き

動いている被写体を自動でフォーカス
ロックするとき『』(追尾AF)

1 被写体を追尾AF枠に合わせ、 シャッターボタンを半押しする



被写体を認識すると、追尾AF枠が白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。AFロックに失敗したときは、赤く表示されます。

- 追尾AFを解除するとき
→ [MENU/SET] ボタンを押す

●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。

ピントを合わせる位置が決まっているとき  (1点)

画面中央のAFエリアにピントが合います。
(ピントが合いにくいときにお勧めです)

■撮りたいものが中央にないとき

1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを
被写体に
合わせ

半押しの
まま



フォーカス表示
(ピントが合う: 点灯
ピントが合わない: 点滅)

AFエリア
(ピントが合う: 緑
ピントが合わない: 赤)

2 撮りたい構図に戻し、撮影する


全押し



AFエリア

■AFエリアの位置やサイズを変更する ([フォーカスエリア選択])

[オートフォーカスマード]が[□]（1点）の場合は、中央にあるAFエリアの位置やサイズを変更できます。

- ① [MENU/SET]ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶で[撮影]メニューを選び、
[MENU/SET]ボタンを押す
- ③ ▲▼で[オートフォーカスマード]を選び、
[MENU/SET]ボタンを押す
- ④ ▲▼でオートフォーカスマードの項目から[□]
を選び、[DISP.]ボタンを押す
- ⑤ AFエリアを変更する
AFエリアの位置：▲▼◀▶を押す
AFエリアのサイズ：コントロールダイヤルを回す



- AFエリアの位置・サイズを元に戻すとき
→[DISP.]ボタンを押す
- ⑥ [MENU/SET]ボタンを押す

近づいて撮る

被写体を大きく撮影したいとき、[AF_{MF}]（AFマクロ）にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて（W端なら3cmまで）撮影できます。

- 1 [AF_{MF}]ボタン(◀)を押す

- 2 ▲▼で[AF_{MF}]（AFマクロ）を選び、
[MENU/SET]ボタンを押す



撮る

■さらに大きく撮影する

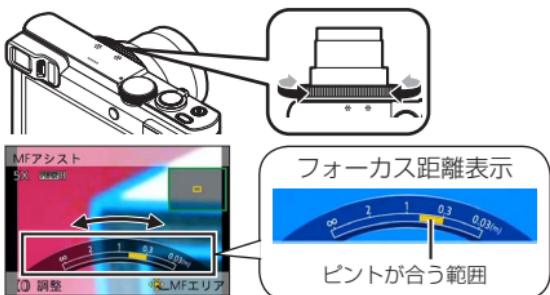
被写体をさらに大きく撮影したいときは、[ズーム]（ズームマクロ）に設定してください。

- 1 [AF_{MF}]ボタン(◀)を押す
- 2 ▲▼で[ズーム]（ズームマクロ）を選び、
[MENU/SET]ボタンを押す
- ③ ズームレバーで倍率を調節する
●ズーム位置はW端固定となります。倍率は1倍～
3倍の間で調節できます。

手動でピントを合わせる

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

- 1 [MF]ボタン(◀)を押す
- 2 ▲▼で[MF]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 3 コントロールリングを回してピントを調整する



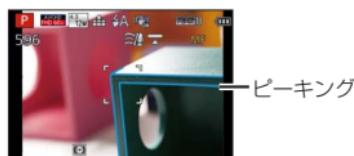
■MFアシスト

[セットアップ]メニューの[MFアシスト]が[ON]の場合、マニュアルフォーカス操作を行うと、MFエリア(ピントを合わせる位置)が拡大表示されます。

- MFエリアの位置を変更するとき
 - ① MFアシスト表示中に[MENU/SET]ボタンを押す
 - ② ▲▼◀▶でMFエリアを移動する
 - 位置を元に戻すとき→[DISP.]ボタンを押す
 - ③ [MENU/SET]ボタンを押す
- MFアシスト表示中またはMFエリアの移動中にコントロールダイヤルを回すと、拡大エリアの倍率が変更できます。

■ピーキング

[セットアップ]メニューの[ピーキング]が[ON]の場合、ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。被写体のどの部分にピントが合っているのかを確認できます。



- [セットアップ]メニューの設定方法は、35ページをお読みください。

露出を補正して撮る

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。

1 [■]ボタン(▲)を押す

2 コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して補正值を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



- 暗すぎるときは、[+]方向へ補正します。
- 明るすぎるときは、[-]方向へ補正します。
- 露出補正後は、画面左下に補正值([■+1/3]など)が表示されます。
- ◀▶を押しても調整できます。

露出を自動的に変えながら撮る

露出を自動で変えながら、3枚連写します。[露出補正]後は、補正值を基準にします。

1 [□]ボタン(▼)を押す

2 ▲▼で[オートブラケット]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 補正幅を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押して◀▶で補正幅を選びます。



[露出補正]後は補正值を表示

3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、露出を変えて3枚連写されます。1枚目は補正なし、2枚目は[-]方向へ補正、3枚目は[+]方向へ補正した写真になります。

撮
る

■オートブラケットを解除するとき

手順 ② で[□]または[□_{off}]を選びます。

連写する

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。

1 [■]ボタン(▼)を押す

2 ▲▼で[連写]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 連写の設定を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押して ▲▼ で設定を選びます。

設定	連写速度	最大記録枚数 ^{※2}
	約3～約10コマ/秒	100枚
	約3コマ/秒	100枚
	約6コマ/秒	
	約10コマ/秒	6枚
	約40コマ/秒	30枚
	約60コマ/秒	60枚
	撮影条件による	5枚

^{※1} インテリジェントオートモードのみ

^{※2} 撮影条件やカードの種類、カードの状態などによって制限されます。

^{※3} プログラムAEモード、絞り優先AEモード、シャッター優先AEモードのみ

3 撮影する

■ 連写を解除するとき

手順 ② で [□] または [■ off] を選びます。

セルフタイマーで撮る

三脚の使用をお勧めします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

1 [■]ボタン(▼)を押す

2 ▲▼で[セルフタイマー]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 設定時間を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押して ▲▼ で設定時間 выбираете.

3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、設定時間後に撮影します。



- カウントダウン中に中止するとき
→ [MENU/SET]ボタンを押す

■ セルフタイマーを解除するとき

手順 ② で [□] または [■ off] を選びます。

- ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くことがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。

メニューを使って設定する

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼◀▶ を押す、またはコントロールダイヤルを回してメニューの種類を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

●撮影モード時



撮影(P.59) 色合いや感度、横縦比、画素数などが設定できます。

動画(P.60) 記録方式や画質などが設定できます。

セットアップ(P.61) 時計設定や操作音の切り替えなど、使いやすさの設定ができます。

Wi-Fi(P.61) Wi-Fi接続や、Wi-Fi機能を使うために必要な設定ができます。

再生モード(P.60) スライドショーで見たり、表示する画像を絞り込んだりするなど、再生方法を選べます。

再生(P.60) 画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

●再生モード時



3 ▲▼ を押す、またはコントロールダイヤルを回してメニューの項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

メニュー項目



4 ▲▼ を押す、またはコントロールダイヤルを回して設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 元の画面に戻るまで、繰り返し [Q.MENU/◀] ボタンを押す

- メニューが終了し、元の画面に戻ります。
- 撮影モード時は、シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

撮る

撮影に便利なメニュー

[撮影]メニューの設定方法は35ページをお読みください。
撮影モードや設定により、表示されるメニューの種類や
項目は異なります。

[画像横縦比]

写真の横縦比を設定します。

■ 設定 : [4:3] / [3:2] / [16:9] / [1:1]

[記録画素数]

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定と
[クオリティ]の設定で撮影できる枚数が決まります。

■ 記録可能枚数の目安

画像横縦比[4:3]、クオリティ[■]の場合

記録画素数	12M	5M	0.3M
内蔵メモリー	16	29	450
8 GB	1540	2620	40310
32 GB	6260	10620	162960
64 GB	12670	21490	247150

[クオリティ]

画質を設定します。

■ 設定

■ フайн	画質を優先して、JPEG形式で記録
■ スタンダード	標準画質で、JPEG形式で記録
RAW ■ RAW+ファイン	RAW形式に加え、JPEG形式でも記録 ^{*1}
RAW ■ RAW+スタンダード	RAW形式で記録 ^{*2}
RAW ■ 3D+ファイン	3D写真データ(MPO)とJPEG形式の画像を同時に記録
RAW ■ 3D+スタンダード	(シーンモードの[スライド3D撮影]のみ)

*1 本機でRAW画像を消去すると、JPEG画像も同時に消去されます。

*2 記録画素数は設定できません。(それぞれ画像横縦比の最大サイズで記録されます)

■ RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像処理が行われていない
そのままのデータ形式です。

RAW形式の画像データは、市川ソフトラボラトリー
「SILKYPIX Developer Studio SE」を使うことによ
り、パソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、
TIFFなど)で保存したり、撮影後のホワイトバランスの
修正といった高度な編集をすることができます。ただ
し、RAWファイルの画像データ容量は大きくなります。
「SILKYPIX Developer Studio SE」は、サイトからダウ
ンロードして、お使いのパソコンにインストールしてください。
ダウンロードなど、詳しくは54ページをお読みください。

[ISO感度]

暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

■ 設定の目安

ISO感度	80	↔	6400
適した撮影場所	明るい(屋外)		暗い
シャッタースピード	遅くなる		速くなる
ノイズ	減る		増える
被写体ブレ	多い		少ない

[ホワイトバランス]

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■ 設定

AWB (オートホワイトバランス)	環境光に応じて、自動で色合いを調整
 (晴天)	晴天下に適した色合いに調整
 (曇り)	曇天下に適した色合いに調整
 (日陰)	日陰に適した色合いに調整
 (白熱灯)	白熱灯の照明下に適した色合いに調整
 (セットモード)	あらかじめ登録した色合いで撮影
 SET (セットモード設定)	色合いを手動で登録

[測光モード]

露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。

■ 設定

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
 マルチ測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
 中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
 スポット	中央の狭い範囲	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき(舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

撮る

[超解像]

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。

■ 設定：ON/OFF

[日付焼き込み]

撮影時に、日付や日時を写真へ焼き込んで撮影できます。

■ 設定：日付/日時/OFF

- 写真に焼き込まれた撮影日時は消せません。
- 時計設定を行っていないと、日付情報を焼き込むことができません。

撮影に便利なメニュー

続き

[インターバル撮影]

撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数をあらかじめ設定しておくと、自動的に写真を撮影します。動植物などの経過観察や風景などの定点撮影に役立ちます。撮影した写真は、ひとつのグループ画像として記録されます。

- 十分に充電されたバッテリーのご使用をお勧めします。
- 付属のACアダプターまたは当社製ACアダプター（別売：DMW-AC9）を使って電源コンセントから電力を供給している場合は、インターバル撮影できません。
- あらかじめ時計設定をしておいてください。（P.18）
- 内蔵メモリーには記録できません。カードをお使いください。
- 撮影枚数は使用条件やバッテリー残量によって、設定した枚数で撮れないことがあります。

1 [撮影] メニューの[インターバル撮影] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P.35）

2 ▲▼で項目(右表)を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

開始時刻	
即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
開始時刻設定	<p>撮影を開始する時刻を設定できます。最大23時間59分後まで設定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">• ◀▶で項目(時・分)を選んで ▲▼で設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数	<p>撮影間隔と撮影枚数を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• ◀▶で項目(撮影間隔・撮影枚数)を選んで ▲▼で設定し、[MENU/SET] ボタンを押す <p>撮影間隔：10秒から1分までを10秒単位で、1分から30分までを1分単位で設定できます。（シャッタースピードによっては、1分間隔または5分間隔からの設定になります）</p> <p>撮影枚数：10枚から200枚までを10枚単位で設定できます。</p>
撮影警告	
ON	警告音とAF補助光の点滅で、撮影を開始することを事前にお知らせします。
OFF	警告音は鳴りません。また、AF補助光も点滅しません。

3 ▲▼で[撮影開始]を選び、
[MENU/SET]ボタンを押す

4 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影間隔を40秒以上に設定した場合、撮影待機中は電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合は電源ボタンを押すか、再生ボタン(P.13)を長めに押してください。
- 途中で終了する場合は、電源が入った状態で [MENU/SET] ボタンまたは再生ボタン(P.13)を押し、表示される確認画面に従って終了してください。

●ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くことがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。

■インターバル撮影したグループ画像から動画を作成する

作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

- ①再生ボタン(P.13)を押す
 - 再生モードに切り換わります。
- ② [MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ▲▼◀▶で[再生]メニューを選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
- ④ ▲▼で[インターバル動画作成]を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
- ⑤ ◀▶で動画を作成したいグループ画像を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
- ⑥ ▲▼で項目と設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定	設定内容
[画質設定]	[FHD]	1920×1080画素、 画像横縦比16:9
	[HD]	1280×720画素、 画像横縦比16:9
	[VGA]	640×480画素、 画像横縦比4:3
[フレームレート]	[6fps]	1秒間に6枚の画像を再生
	[30fps]	1秒間に30枚の画像を再生

- ⑦ ▲▼で[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

【】画像効果を変えて撮る

クリエイティブコントロールモードでは、お好みの画像効果を選んで撮影できます。

1 モードダイヤルを[]に合わせる

2 ▲▼で効果を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [DISP.]ボタンを押すと、効果の説明が表示されます。

- コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回すと画像効果を変更できます。

明るく、爽やかな雰囲気で

➡ ポップ/ハイキー/ソフトフォーカス

落ち着いた、懐かしい雰囲気で

➡ レトロ/オールドデイズ/セピア/トイフォト

重厚な雰囲気で

➡ ローキー/ダイナミックモノクローム/
インプレッシブアート

特殊な画像効果で

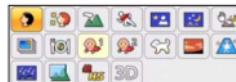
➡ ハイダイナミック/クロスプロセス/ジオラマ/
クロスフィルター/ワンポイントカラー

【SCN】場面に合わせて撮る

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定(露出や色調など)で撮影できます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 ▲▼◀▶でシーンを選び、 [MENU/SET]ボタンを押す



- コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回すとシーンを変更できます。

人物を撮影するとき

➡ 人物/美肌/夜景&人物/赤ちゃん

風景や夜景などを撮影するとき

➡ 風景/夜景/手持ち夜景/逆光補正HDR/夕焼け

その他、被写体に合わせて撮影するとき

➡ スポーツ/料理/ペット/高感度/星空/ガラス越し/
ハイスピード動画/スライド3D撮影

[□]パノラマ写真を撮る

撮影したい方向にカメラを動かし、その間に連写した写真を自動的につなぐことで、簡単にパノラマ写真を撮影できます。

- お買い上げ時、撮影方向は[左→右]、画像効果は[効果なし(No Effect)]に設定されています。

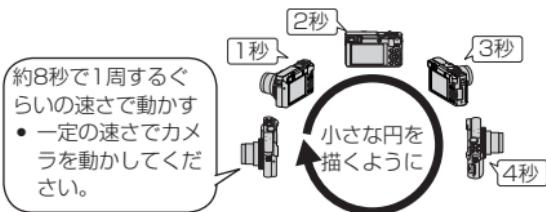
1 モードダイヤルを[□]に合わせる

2 撮影方向を確認し、[MENU/SET]ボタンを押す

- コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回すと、画像効果を変更できます。

3 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

4 シャッターボタンを全押しし、撮影方向へ小さな円を描くようにカメラを動かして撮影する



5 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラを止めても、撮影を終了できます。

■撮影方向・画像効果を設定する

撮影方向を変更したり、クリエイティブコントロールモードのように、画像効果を加えてパノラマ写真を撮影することができます。

- (手順②のあと) ▶を押す
- ▲▼で撮影する方向を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



- ▲▼で画像効果を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 【トイフォト】【ジオラマ】は選べません。

- パノラマモードでは、ズーム位置はW端に固定されます。

撮る

コントロールリング/コントロールダイヤルの設定を変更する

コントロールリング/コントロールダイヤルに割り当てる設定を変更することができます。



- 1 [MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲▼◀▶で[セットアップ]メニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲▼で[リング/ダイヤル設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲▼で[()] (コントロールリング) または[()] (コントロールダイヤル) を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲▼で設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [標準]
- [ステップズーム]
- [画像横縦比]
- [ホワイトバランス]
- [未設定] (コントロールリングのみ)
- [ズーム]
- [露出補正]
- [ISO感度]

6 [Q.MENU/] ボタンを数回押す

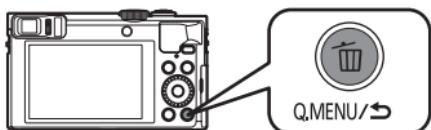
- メニューが終了し、元の画面に戻ります。

- お買い上げ時の設定に戻す場合は、[標準]を選びます。
- コントロールリングを使わない場合は、[未設定]を選んでください。
- 割り当てた機能は、撮影モードに関係なく共通で設定されます。ただし、撮影モードとの組み合わせによっては、割り当てた機能が働かない場合があります。
- コントロールリングの設定を変更しても、クイックメニューからマニュアルフォーカス操作ができます。(P.43)

クイックメニューを使う

撮影時に一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

1 [Q.MENU/◀▶] ボタンを押す



2 ◀▶でメニュー項目を選ぶ

- 撮影モードにより表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

3 コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して設定を変更する

4 [MENU/SET] ボタンを押す

ファンクションボタンにお好みの機能を登録する

[撮影] メニューや[セットアップ]メニューなどの機能を[Fn1]ボタンまたは[Fn2]ボタンに登録することで、簡単に呼び出すことができます。

- お買い上げ時、[Fn1]ボタンは[構図ガイド]に、[Fn2]ボタンは[LVF/モニター切換]に設定されています。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼◀▶で[セットアップ]メニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼で[Fnボタン設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲▼で登録するボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲▼で登録する機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

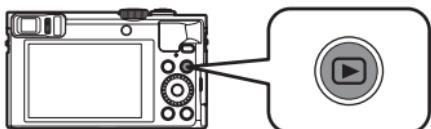
- [LVF/モニター切換]
- [ワンドットAF]
- [オートフォーカスモード]
- [クオリティ]
- [ヒストグラム表示]
- [AF/AEロック]
- [測光モード]
- [フォーカスエリア選択]
- [構図ガイド]
- [ピーチング]

撮
る

画像を見る

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。

1 再生ボタンを押す



- 電源を切っているときに再生ボタンを長押しすると、再生状態で電源を入れることができます。

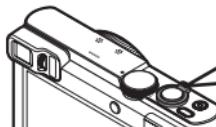
2 ◀▶を押す、またはコントロールダイヤルを回して表示する画像を選ぶ



■いろいろな再生方法

[再生モード]メニューでは、[スライドショー]や
[絞り込み再生]などに切り換えることができます。
(P.35)

■拡大表示する/一覧表示する



- ズームレバーをT側に回すと、拡大表示できます。
 - 拡大表示中は、▲▼◀▶を使って表示位置を調整できます。
 - ズームレバーをW側に回すと、元の倍率に戻ります。
- ズームレバーをW側に回すと、一覧表示できます。
 - ズームレバーをW側に回すと、1画面表示→12画面表示→30画面表示→カレンダー画面に切り換わります。(T側に回すと戻ります)
 - 12画面または30画面で、▲▼◀▶で画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押すと、1画面表示されます。
 - コントロールダイヤルでも画像を選ぶことができます。

■動画を見る

- 1 動画アイコン(**AVCHD FHD60i**など)が付いた画像を選び、▲を押す



●動画再生中の操作

▲：一時停止/再生

▼：停止

◀：早戻し(2段階) / (一時停止中)コマ戻し

▶：早送り(2段階) / (一時停止中)コマ送り

[MENU/SET]ボタン：(一時停止中)写真切り出し

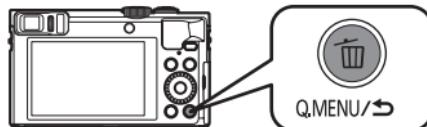
コントロールダイヤル：◀▶と同じ

ズームレバー：音量調整

写真や動画を消す

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。
(一度消した画像は元に戻せません)

- 1 消去する画像を表示中に[**廃**]ボタンを押す



- 2 ◀を押して[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

●[セットアップ]メニューの[フォーマット]を実行すると(P.35)、内蔵メモリーまたはカードを初期化することができます。カード内のファイルは、すべて消去されます。

- インテリジェントオートモードでは、フォーマットできません。

見る

撮影した写真をレタッチする

[かんたんレタッチ]

写真の色や明るさのバランスを整えます。

1 再生中にレタッチする写真を選び、 ▲を押す

- ・[再生]メニューの[レタッチ]を選んでも、操作できます。(P.35)

2 ▲▼で[かんたんレタッチ]を選び、 [MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲▼で[ON]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと新規保存されます。
- ・[OFF]を選ぶと、元の状態を表示できます。

[クリエイティブレタッチ]

撮った写真を、お好みの効果を選んでレタッチします。

1 再生中にレタッチする写真を選び、 ▲を押す

- ・[再生]メニューの[レタッチ]を選んでも、操作できます。(P.35)

2 ▲▼で[クリエイティブレタッチ]を 選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲▼で効果を選ぶ

- ・効果を反映した画像が表示されます。
- ・[効果なし(No Effect)]を選ぶと、元の状態を表示できます。
- ・[DISP.]ボタンを押すと、効果の説明が表示されます。

4 [MENU/SET]ボタンを押す

- ・確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと新規保存されます。
- ・[クロスプロセス]、[トイフォト]、[ジオラマ]、[ワンポイントカラー]を選んだ場合、効果を設定します。

Wi-Fi®機能/NFC機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク(SSID*)が表示されることがあります。不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

* SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがあります

飛行機の機内や使用を禁止された区域では、[セットアップ]メニューの[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。(P.35)

■ 本機はNFCに対応しています

NFC (Near Field Communication：近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。

■ 本機はWPA™、WPA2™に対応しています。

■ ご使用の前に

あらかじめ時計設定をしておいてください。(P.18)
本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。
無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g
またはIEEE802.11n対応のものをご使用ください。

Wi-Fi機能/NFC機能でできること

スマートフォン/タブレットとつないで使う

お使いのスマートフォン/タブレット^{*}に
「Panasonic Image App」をインストールすると、
離れた場所からスマートフォンでカメラを操作したり、
カメラの画像をスマートフォンに取り込んだり
することができます。

* このページ以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。



- スマートフォンで撮影する(リモート撮影) (P.51)
- カメラの画像を再生する(P.51)
- カメラの画像をスマートフォンに保存する(P.51)
- NFC機能を使ってWi-Fi接続し、カメラの画像を簡単に転送する
- カメラの画像に位置情報を追加する

■ほかにもこんな機能があります

テレビに写真を映す

ワイヤレスでプリントする

対応したプリンターに写真を送り、ワイヤレスでプリントすることができます。

Wi-Fi対応機器に画像を送る

カメラ内の画像を選んで、パソコンやAV機器などに転送することができます。

Webサービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」について詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

画像を自動で転送する(おまかせ画像転送)

撮影した画像をパソコンやAV機器、クラウドフォルダーに自動で転送します。

- 詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」をお読みください。
- スマートフォンの機能や操作方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
- 3GやLTEなどの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

次の3ステップで、本機とスマートフォンをつないで使うことができます。



STEP1 スマートフォンの準備：専用アプリ「Panasonic Image App」^{*1}をインストールする

^{*1} 以降は「Image App」と表記

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

- 最新情報：<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 対応OS

iOS : iOS 6.0以上^{*2}

Android™ : Android 2.3.3以上^{*3}

^{*2} iPhone 3GSには対応していません。

^{*3} [Wi-Fi Direct]で本機と接続するには、Android OS 4.0以上でWi-Fi Direct™に対応している必要があります。

1 スマートフォンをネットワークに接続する

2 <iOS端末(iPhone、iPod touch、iPad)をお使いの場合>
「App StoreSM」を選ぶ

<Android端末をお使いの場合>
「Google Play™ストア」を選ぶ

- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2015年1月現在のものです。また、対応OSは変更する場合があります。
- 対応OSやImage Appのバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

続き

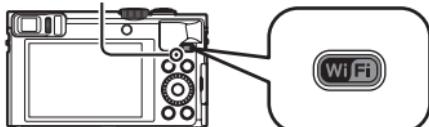
STEP2

スマートフォンと接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、本機とWi-Fi接続することができます。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す

Wi-Fi接続ランプ(青色に点灯)



スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報(SSID)が表示されます。

2 スマートフォンのWi-Fi設定をする

<iOS端末(iPhone, iPod touch, iPad)をお使いの場合>

- ① [設定]*の[Wi-Fi]*を選ぶ
- ② [Wi-Fi]*をオンにして、本機に表示されたSSIDを選ぶ
- ③ ホームに戻り、「Image App」を起動する

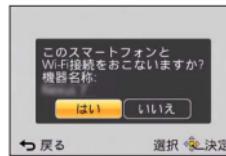


* お使いの言語設定によって表示が異なります。

<Android端末をお使いの場合>

- ① 「Image App」を起動する
- ② 「Image App」の[?]を選ぶ
- ③ 本機に表示されたSSIDを選ぶ

3 カメラに接続を確認する画面が表示されたら、◀▶で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



• 再接続のときは、確認画面は表示されません。

お買い上げ時は「Wi-Fiパスワード」が[OFF]に設定されています。このような場合、第三者によってWi-Fiの電波を傍受され、通信内容を盗み取られるおそれがあります。

• 「Wi-Fiパスワード」を[ON]にして、セキュリティーを強化することもできます。詳しくは、52ページをお読みください。

STEP3

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンで撮影する(リモート撮影)

ズーム操作やシャッターを押すなどの操作が、スマートフォンからリモコン感覚で行えます。

1 「Image App」の[]を選ぶ

2 撮影する

- ・撮影した画像はカメラに保存されます。
- ・ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くことがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。

カメラの画像を再生する

1 「Image App」の[]を選ぶ

- ・スマートフォンの画面に本機からの映像が表示されます。

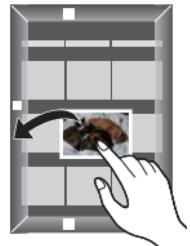
カメラの画像をスマートフォンに保存する

1 「Image App」の[]を選ぶ

- ・スマートフォンの画面に本機からの映像が表示されます。

2 画像を長押ししてドラッグし、スマートフォンに保存する

- ・スマートフォンに画像が保存されます。
- ・RAW形式の画像データ、AVCHD動画は保存できません。
- ・3D写真(MPO形式)は、2D写真(JPEG)で保存されます。

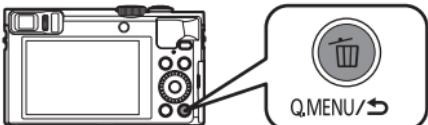


スマートフォン/タブレットとつないで使う

続き

接続を終了する

① [Q.MENU/◀] ボタンを押す



- 確認画面が表示されます。[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押します。

② スマートフォンで「Image App」を終了する

- 終了方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

■再接続するときの手順

一度、本機と接続したスマートフォンは、2回目以降はSTEP2 (P.50)からの操作で再接続できます。

■ [Wi-Fiパスワード]を[ON]にする

Wi-Fi接続時のセキュリティーを強化することができます。

- [MENU/SET]ボタンを押す
- ▲▼◀▶で[Wi-Fi]メニューを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- ▲▼◀▶で[Wi-Fi設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- ▲▼で[Wi-Fiパスワード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- ▲▼で[ON]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
 - Wi-Fi接続時に、手動入力またはQRコードによるパスワード認証ができるようになります。

●[Wi-Fiパスワード]を[ON]に設定した場合のスマートフォンとの接続方法については、「取扱説明書 活用ガイド」をお読みください。

パソコンに画像を保存する

ソフトウェアをインストールする

CD-ROM（付属）には、以下のソフトウェアが収録されています。パソコンにインストールしてお使いください。動作環境や使用方法など、詳しくはそれぞれのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

- ・「PHOTOfunSTUDIO」、「LoiLoScope」はMacでは使えません。

PHOTOfunSTUDIO 9.6 PE

画像のパソコンへの取り込み、閲覧、整理、写真の補正や動画の編集、印刷などができます。取扱説明書（PDF形式）は、ソフトウェア起動後にお読みいただけます。

- ・対応OS : Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista

LoiLoScope -30日間フル体験版

簡単に動画編集ができます。インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。LoiLoScopeの詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。

使い方Webサイト : <http://loilo.tv/product/20>

- ・対応OS : Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista

準備 :

- ・お使いのパソコンの仕様と各ソフトウェアの動作環境を確認しておく。
- ・CD-ROM（付属）を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了しておく。

■Windows

1 CD-ROM（付属）を入れる

- ・自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- ・Windows 8.1 / Windows 8 ではCD-ROMを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exe の実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- ・[コンピューター]内の[SFM○○○○]をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。（○○○○は機種によって異なります）

2 [アプリケーション]をクリックする

3 [おまかせインストール]をクリックする

- ・画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。
- ・お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。

SILKYPIX Developer Studio SEをダウンロードする

SILKYPIX Developer Studio SEは、RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

■ダウンロード方法

SILKYPIX Developer Studio SEは、下記のサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。(付属のCD-ROMには収録されておりません)

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

- 対応OS : Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista
Mac OS X (10.5 ~ 10.10)
- SILKYPIX Developer Studio SEの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをご覧ください。
- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

写真、動画を取り込む

1 本機とパソコンの電源を入れ、付属のUSB接続ケーブルでつなぐ

- 付属のUSB接続ケーブルまたは当社製USB接続ケーブル(別売：DMW-USBC1)以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 本機の▲▼で[PC]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

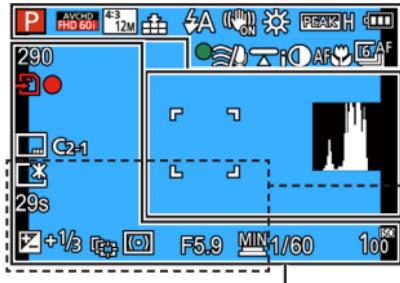
3 画像をパソコンにコピーする

- Windowsの場合
「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。
- Macの場合
「DCIM」フォルダー内の画像ファイルをコピーしてください。(AVCHD動画を除く)

4 接続を解除して、USB接続ケーブルを外す

モニター / ファインダーの表示一覧

■撮影時



290: 記録可能枚数	マニュアル露出アシスト
残29m59s: 残り記録可能時間*	
●: 記録動作	追尾AF
IN: 保存先	AF*: AF補助光
LVF/MON AUTO: ファインダー / モニター自動切換	測光モード
Wi-Fi: Wi-Fi接続状態	AEL: AEロック
日付焼き込み	背景のボケ具合
C2-1: カスタムセット	プログラムシフト
モニター輝度	AE: AEロック
モニターパワーセーブ	下限シャッター速度
29s: 記録経過時間**	シャッタースピード
+1/3: 明るさ露出補正	ISO: ISO感度
	ISO: ISO感度上限設定

P: 撮影モード	: バッテリー残量表示
●: 逆光補正	: フォーカス表示
AVCHD: 記録方式/画質設定	: ズームマイク
4:3 12M: 画像横縦比/記録画素数	: 風音低減
SA: クオリティ	: 動画傾き補正
AF: フラッシュモード	: 暗部補正
(手): 手ブレ補正	: AFマクロ
(手): ブレピタモード	: ズームマクロ
(手): 手ブレ警告表示	: MF: マニュアルフォーカス
※: ホワイトバランス	: AFL: AFロック
※: クリエイティブコン	: 色合い
トロール調整表示	: 連写
PEAKH: ピーキング	: オートブラケット
	: セルフタイマー

: AFエリア	: ヒストグラム
	: インターバル撮影

旅行先・トラベル経過日数
現在日時・ワールドタイム
名前・月齢/年齢

* hは「hour (時間)」、mは「minute (分)」、sは「second (秒)」を省略した表示です。

モニター / ファインダーの表示一覧

続き

■再生時



レタッチ 動画再生
パノラマ再生 連写再生
インターバル撮影 グループ連続再生

▶ : 再生モード	☑ : レタッチ済み
On : プロテクト	4:3 12M : 画像横縦比/ 記録画素数
★ : お気に入り	
☑ : 日付/文字 焼き込み済み	● : クオリティ
	■ : バッテリー残量表示

フォルダー・ファイル番号 25s : 再生経過時間^{*1}
画像番号/トータル枚数

HQHD : 記録方式/画質設定	＊ : モニター輝度
30s : 動画記録時間 ^{*1}	＊ ² : プリント設定
□ : 連写	GPS : 位置情報あり
◎ : インターバル撮影	Histogram : ヒストグラム
□ : 情報取得中アイコン	

[P] : 撮影モード	⌚ : クリエイティブ コントロール調整表示	撮影日時・ワールドタイム
◎ : フラッシュモード		名前・月齢/年齢 ^{*2}
☀ : ホワイトバランス	100 ^{ISO} : ISO感度	タイトル ^{*2}
☒ +2/3 : 露出補正	F3.3 : 絞り値	旅行先・トラベル経過日数 ^{*2}
	1/60 : シャッタースピード	

^{*1} hは「hour (時間)」、mは「minute (分)」、sは「second (秒)」を省略した表示です。

^{*2} タイトル、旅行先、名前(赤ちゃん/ペット)、名前(個人認証)の優先順位で表示されます。また、トラベル経過日数が表示されているときは、月齢/年齢は表示されません。

メッセージ表示

モニター / ファインダーに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

電源を入れ直してください/ システムエラー	レンズが正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直してください。 (それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)
内蔵メモリーエラー / フォーマットしますか？	内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直してください。データは消去されます。(P.45)
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です。 フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットしてください。(P.45)
リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認してください。(P.17) データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れてください。 カードが壊れている可能性があります。 →別のカードを入れてお試しください。
カードの書き込み速度不足のた め記録を終了しました	カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。 →推奨のスピードクラスのカード(P.17)を使用しても停止した場合は、データの 書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマットすることを お勧めします。

メッセージ表示

続き

アクセスポイントの接続に失敗しました/接続できませんでした/送信先が見つかりませんでした。	無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。 →本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。 →無線アクセスポイントの電源が入っていません。 →本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。 接続先のネットワーク設定をご確認ください。 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。 →無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。
通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ネットワークが切断されました。送信を中止しました。	無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。 →無線アクセスポイントの近くで接続してください。 サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。 →しばらくしてから再度実行してください。 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。 →もう一度接続してください。
通信できませんでした	接続先のスマートフォンについて、以下をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none">スマートフォンが動作していません。スマートフォン側のWi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。スマートフォンの保存容量に空きがありません。

メニュー一覧

表示されるメニュー項目は、撮影モードなどにより異なります。

■ [撮影] メニュー

メニュー項目	説明
画像横縦比	写真の横縦比を設定します。
記録画素数	画像(粒子)のきめ細かさを設定します。
クオリティ	画質を設定します。
ISO感度	ISO感度(光に対する感度)を自分で設定します。
ISO感度上限設定	[ISO感度]の設定が[AUTO]または[ISO]のときのISO感度の上限を設定します。
ホワイトバランス	色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。
オートフォーカスマード	被写体の位置や数に応じてピントの合わせ方を選択できます。
クイックAF	シャッターボタンを押していない間も、カメラのフレアが小さくなると自動的にピントを合わせます。
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
AF/AEロック切換	露出固定(AEロック)、ピント固定(AFロック)を切り換えます。
測光モード	露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。
暗部補正	背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。
下限シャッタースピード	シャッタースピードの最低速度を設定します。

メニュー項目	説明
超解像	超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。
iAズーム	超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げることができます。
デジタルズーム	望遠効果を高めます。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。
インターバル撮影	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、被写体(動植物など)の時間経過を追って自動的に撮影することができます。
AF補助光	暗い場所で自動的にAF補助光を点灯し、ピントを合わせやすくするように設定できます。
デジタル赤目補正	フラッシュの赤目軽減([A ^①] [S ^①])で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。
ブレビタモード(iAモード)	被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。
i手持ち夜景(iAモード)	手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できます。
iHDR(iAモード)	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
手ブレ補正	手ブレを自動で感知して補正します。
日付焼き込み	撮影時に、日付や日時を写真へ焼き込んで撮影できます。

メニュー一覧

続き

■ [動画] メニュー

メニュー項目	説明
記録方式	記録する動画のデータ形式(AVCHD、MP4)を設定します。
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。
静止画記録 画素数	動画撮影中に写真を撮影するときの記録画素数を設定します。
AF連続動作	動画撮影中もピントを合わせ続けるか、または動画撮影開始時のピント位置で固定するかを設定できます。
動画傾き補正	動画撮影時のカメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平に補正します。
風音低減	風が強いときに録音される風の音(風音ノイズ)を自動的に判別し、記録しにくくします。
ズームマイク	ズーム操作に連動して音を収録します。

■ [再生モード] メニュー

メニュー項目	説明
全画像	すべての画像を再生します。
2D/3D切換	2Dと3Dの出力形式を切り替えます。(HDMI出力時のみ)
スライドショー	撮影した画像を自動で連続再生します。
絞り込み再生	さまざまな条件で絞り込んで再生します。
カレンダー検索	画像を撮影日から検索して再生します。

■ [再生] メニュー

メニュー項目	説明
位置情報記録	スマートフォンで取得した位置情報(緯度・経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。
タイトル入力	お好みの写真にタイトルなどを付けることができます。
文字焼き込み	撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。
レタッチ	撮影した写真に[かんたんレタッチ]、[クリエイティブレタッチ]の効果を加えることができます。
動画分割	1つの動画を2つに分割できます。
インターバル 動画作成	インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。
リサイズ(縮小)	写真の容量(記録画素数)を小さくします。
トリミング (切抜き)	写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。
お気に入り	画像に[★]印を付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。
プロジェクト	誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。
認証情報編集	間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。
画像コピー	内蔵メモリーとカードとの間で、画像のコピーができます。

■ [Wi-Fi] メニュー

メニュー項目	説明
新規に接続	新規の設定でWi-Fi接続します。
履歴から接続	以前と同じ設定でWi-Fi接続します。
お気に入り接続	お気に入りに登録された設定でWi-Fi接続します。
Wi-Fi設定	Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。
Wi-Fi パスワード	スマートフォンと直接接続するときにパスワードを利用します。
おまかせ画像 転送	カメラ内の画像をパソコンやAV機器、クラウドフォルダーに自動で転送します。
PicMate 設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDの取得や変更を行います。
PC接続設定	接続するパソコンのワークグループを設定します。
機器名称	本機の名前を変更します。
宅外AV機器 設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を転送します。
NFC動作	NFC機能の設定をします。
Wi-Fi機能 ロック	パスワードを設定して、誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防ぎます。
ネットワーク アドレス表示	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

■ [セットアップ] メニュー

メニュー項目	説明
時計設定	日時と表示方法を設定します。
ワールドタイム	お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定します。
トラベル日付	旅行何日目かを記録します。
機内モード	Wi-Fi機能が働かないようにします。
操作音	操作音やシャッター音を変更します。
カスタムセット	現在のカメラの設定を登録します。
登録	
Fnボタン設定	[撮影] メニューや[セットアップ]メニューなどの機能を、ファンクションボタンに登録することで簡単に呼び出すことができます。
ズームレバー 設定	ズームレバーの動作(ズーム、ステップズーム)を切り換えることができます。
リング/ダイヤル 設定	コントロールリング/コントロールダイヤルに割り当てる設定を変更できます。
ライブビュー モード	モニター、ファインダーの撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度・画質を設定します。
モニター調整	モニターの明るさや色合いを調整します。
LVF調整	ファインダーの明るさや色合いを調整します。
モニター輝度	屋外などの明るい場所でモニターが見にくいたときに見やすくします。
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定します。
構図ガイド	ガイドラインの表示や種類を選びます。
ガイドライン 表示	パノラマモード専用のガイドラインを表示します。
ヒストグラム 表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。

メニュー一覧

続き

■ [セットアップ] メニュー（続き）

メニュー項目	説明
動画記録枠表示	動画で記録できる範囲を撮影前に確認できるようにします。
残枚数/残時間切換	カードまたは内蔵メモリーの空き容量で、写真をあと何枚撮影できるか、または動画をあとどれくらい撮影できるかの表示を切り替えます。
レンズ位置メモリー	電源を切ったときのレンズ位置やマニュアルフォーカスのピント位置を記憶します。
MFアシスト	マニュアルフォーカスでピントを合わせているときに、拡大表示させるかどうかを設定できます。
ピーキング	マニュアルフォーカス時、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
エコモード	本機を使わない間、電源を切ったり、モニターを暗くしてバッテリーの消耗を防ぎます。
オートレビュー	撮影直後に写真を自動表示します。
露出補正リセット	撮影モードを変更したり、電源を切ると、設定した露出補正值(明るさ)がリセットされます。
セルフタイマー自動解除	電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。
番号リセット	画像のファイル番号をリセットします。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi設定リセット	[Wi-Fi] メニューで設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。(PicMateのログインIDはリセットされません)

メニュー項目	説明
USBモード	USB接続ケーブル(付属)でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。
テレビ接続設定	本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。
縦位置自動回転	縦向きに撮った写真を自動的に回転して表示します。
バージョン表示	本体のファームウェアのバージョンを確認したり、ソフトの情報を表示します。
フォーマット	[内蔵メモリーエラー]または[メモリーカードエラー]が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)するときに行います。
言語設定	画面表示の言語を設定します。

Q&A 故障かな？と思ったら

- ・[セットアップ]メニューの[設定リセット]を行うと症状が改善する場合があります。
- ・パナソニックのサポートサイトで最新のサポート情報をご確認いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- ・症状が改善しない場合は「保証とアフターサービス」(P.75)をお読みください。
- ・「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

充電ランプが点滅している。	温度が極端に高い、または低いところで充電している。 →周囲の温度が10 °C～30 °C(バッテリーの温度も同様)のところでUSB接続ケーブル(付属)をつなぎ直し、再度充電をお試しください。 パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。
撮影した画像が明るすぎる。 または暗すぎる。	露出を補正してください。(P.33) [下限シャッター速度]を[1/250]など速い値に設定している。 →[撮影]メニューの[下限シャッター速度]を遅い値に設定してください。(P.35)
撮影した画像の右下が、暗くなったり不自然な色になったりする。	指がフラッシュ発光部にかかっている。 →カメラを正しく構えてください。(P.19)
シャッターボタンを1回押すと、複数枚撮影される。	[オートブラケット]、[連写]を設定している。 →設定を解除してください。(P.33、34)
撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 [下限シャッター速度]を遅い速度に設定したときは、三脚とセルフタイマー(P.34)をお勧めします。

Q&A 故障かな？と思ったら

続き

動画撮影が途中で止まる。	周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、[▲]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。
	カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。
	SDスピードクラスが「Class 4」以上のカードを使用してください。推奨のスピードクラスのカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマットすることをお勧めします。
蛍光灯やLEDなどの照明下で、ちらつきや横しまが出る。	本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
撮影時に、画面に赤っぽい横すじが出る。	本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。
モニターに画像が出ない。	ファインダー表示になっています。 → [LVF]ボタンを押してモニター表示に切り換えてください。(P.19)
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
ズームが最大倍率にならない。	ズーム倍率が3倍で止まる場合、ズームマクロが設定されています。(P.31) → ◀を押してズームマクロを解除してください。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	本機で撮影された動画は、AVCHDおよびMP4に対応した機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。 また、撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

無線LANに接続できない。 電波が途切れる。	<p>無線LANネットワークの通信圏内でご使用ください。</p> <p>電波が途切れる場合は、無線アクセスポイントの置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。</p> <p>バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)</p>
無線アクセスポイントが表示されない。 または接続できない。	<p>無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> →無線アクセスポイントの近くで接続してください。 →本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。 →本機の向きを変えてください。 <p>無線アクセスポイントの設定内容をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> →本機が対応している無線チャンネルは1～11チャンネルです。無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11チャンネルの中から選び、設定してください。
Wi-Fi機能を使用してパソコン(Mac/Windows)に接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> →ログイン名、パスワードが正しく入力されているかご確認ください。 →カメラ本体と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できない場合があります。カメラ本体の[時計設定] / [ワールドタイム]が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」または、Macの「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか、ご確認ください。大きくずれている場合、合わせてください。
Windows 8のパソコンとWi-Fi接続しようとする、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。	<p>Windows 8など、OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> →ローカルアカウントを設定して、必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Q&A 故障かな？と思ったら

続き

Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。	お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。 →[Wi-Fi設定]メニューの[PC接続設定]の[変更する]で、接続するパソコンのワークグループ名へ変更してください。
画像送信が途中で失敗する。	画像のサイズが大きすぎませんか? →[再生]メニューの[動画分割]で動画を分割して送信してください。(P.35) →[送信サイズ]で画像のサイズを小さくして送ってください。 →バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
NFC機能を使って接続できない。	本機能は、Android (OSバージョン2.3.3以上)でおサイフケータイ® FeliCaまたはNFCに対応する端末でお使いいただけます。 スマートフォンのNFC機能がOFFになっていませんか? →初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。 お使いのスマートフォンによっては、認識しにくい機種があります。認識されない場合は、位置をずらすなどして、ゆっくりかざしてください。

使用上のお願いとお知らせ

- お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- レンズバリア部を触らないでください。



- 付属のUSB接続ケーブルまたは当社製USB接続ケーブル(別売：DMW-USBC1)以外は使わないでください。
- 当社製AVケーブル(別売：DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製HDMIマイクロケーブル(別売：RP-CHEU15A、RP-CHEU20A)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

不要になった電池は、
捨てないで充電式電池
リサイクル協力店へ
ご持参ください。



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページを
ご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- "AVCHD"、"AVCHD Progressive"、および"AVCHD Progressive"のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Windows および Windows Vista ™は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPad、iPhone、iPod touch は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

- Android およびGoogle Play はGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™識別マークは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- "Wi-Fi®"、"Wi-Fi Direct®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
-  はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



AVCHD™
Progressive



3D

 **dlna**
CERTIFIED™


PictBridge
USB LAN WLAN
✓ - ✓


Wi-Fi
CERTIFIED


無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、[Wi-Fi]メニュー→[Wi-Fi設定]の[認証情報]で確認できます。

下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。



本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- ① [Wi-Fi]メニューから[Wi-Fi設定]を選ぶ
- ② ▲▼で[認証情報]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス) ご相談窓口 365日 受付9時~20時

電話 フリー ダイヤル
0120-878-638
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用
いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX
フリーダイヤル 0120-878-236

仕様

電源：

DC 5 V

消費電力：

1.7 W (モニター撮影時)

1.1 W (モニター再生時)

カメラ有効画素数：

1210万画素

撮像素子：

1/2.3型 MOSセンサー / 総画素数 1280万画素 /

原色カラーフィルター

レンズ：

光学30倍ズーム f=4.3 mm ~ 129.0 mm

(35 mmフィルムカメラ換算：24 mm ~ 720 mm) /

W端時：F3.3 ~ F8.0

T端時：F6.4 ~ F8.0

手ブレ補正：

光学式

撮影範囲：

AF：50 cm (W端時) / 200 cm (T端時) ~∞

AFマクロ、インテリジェントオート、動画、MF：

3 cm (W端時) / 200 cm (T端時) ~∞

シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり

シャッターシステム：

電子シャッター連動メカニカルシャッター

シャッタースピード：

4秒 ~ 1/2000秒、

シーンモードの[星空]：15秒、30秒、60秒

最低被写体照度：

約10 lx (iローライト時、シャッタースピード1/30秒)

露出：

プログラムAE (P)、絞り優先AE (A)、

シャッター優先AE (S)、マニュアル露出 (M)

測光方式：

マルチ測光/中央重点測光/スポット測光

モニター：

3.0型TFT液晶(3:2) (約104万ドット)

ファインダー：

0.2型カラー液晶(4:3) (約116万ドット相当)

(視度調整付き-4 ~ +4 diopter)

マイク：

ステレオ

スピーカー：

モノラル

記録メディア：

内蔵メモリー (約86 MB) /

SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/

SDXCメモリーカード

記録画像ファイル形式：

写真：RAW/JPEG (DCF準拠、Exif2.3準拠、

DPOF対応) /MPO

動画：AVCHD/MP4

音声圧縮方式：

AVCHD : Dolby® Digital (2ch)

MP4 : AAC (2ch)

インターフェース：

デジタル：USB 2.0 (High Speed)

アナログビデオ：NTSCコンポジット

オーディオ：オーディオオンライン出力(モノラル)

端子：

HDMI：microHDMI Dタイプ

AV OUT/DIGITAL：専用ジャック(8 pin)

寸法：

約 幅110.7 mm×高さ64.6 mm×奥行き34.4 mm
(突起部除く)

質量：

約243 g (カード、バッテリー含む)

約217 g (本体)

推奨使用温度：

0 °C～40 °C

許容相対湿度：

10%RH～80%RH

言語切り替え：

[日本語] / [ENGLISH] (英語) /

[简体中文] (簡体字中国語) /

[繁體中文] (繁体字中国語) / [한국어] (韓国語)

■ ワイヤレス転送部**準拠規格：**

IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)

使用周波数範囲(中心周波数)：

2412 MHz～2462 MHz (1ch～11ch)

暗号化方式：

Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™

アクセス方式：

インフラストラクチャー mode

■ NFC部**準拠規格：**

JIS X 6319-4

ACアダプター：VSK0771

入力：～100 V - 240 V 50/60 Hz 0.2 A

10 VA (100 V) 13 VA (240 V)

出力：--- 5 V 800 mA

バッテリーパック：DMW-BCM13

電圧：3.6 V

容量：1250 mAh

種類：リチウムイオン

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、CD-ROM（付属）の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。

■ Windows の場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8.1 / Windows 8 ではCD-ROMを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exe の実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM〇〇〇〇]をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。（〇〇〇〇は機種によって異なります）

2 [取扱説明書]をクリックする

- 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF形式）が開きます。
パソコンに保存することもできます。

- 「取扱説明書活用ガイド」（PDF形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。（2015年1月現在）
<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

■ Macの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

2 CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く

3 PDFファイルをダブルクリックする。

- 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF形式）が開けます。
パソコンに保存することもできます。

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

●スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典1	家電情報をまとめて登録／管理 購入年月や製造番号などを My 家電リストに保存できます。
ご登録特典2	商品情報をスムーズに入手 Q&A や取扱説明書など、 商品に関する情報が見られます。
ご登録特典3	エンジョイポイントがたまる たまつたポイントでプレゼントに 応募できます。

お問い合わせ先：CLUB Panasonic事務局
club-info@panasonic.jp

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。
<http://club.panasonic.jp/>

■携帯電話からの登録方法

携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

●二次元バーコードを使ってアクセスする場合



●URLを入力してアクセスする場合
<http://mobile.club.panasonic.jp/>

■スマートフォンからの登録方法

パナソニックが提供するスマートフォン専用アプリを使うとさらに簡単に登録できます。
詳しくは74ページをご覧ください。

パナソニックスマートアプリのご案内



パナソニックスマートアプリについて
パナソニックの商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

パナソニックスマートアプリで「ご愛用者登録」をする

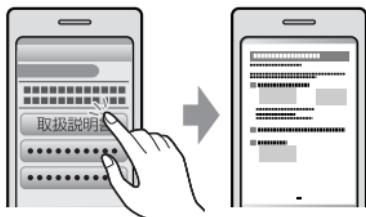
スマートアプリを使うと、スマートフォンとカメラをタッチするだけで、簡単にご愛用者登録ができます。



- タッチで登録するには、お使いのスマートフォンがNFC機能を搭載している必要があります。
- カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント(無線LANルーター)について、ご愛用者登録することもできます。

パナソニックスマートアプリで取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



お出かけ先で困ったとき
にもすぐ参照できる

■カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリも一括で管理できます

■お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます

パナソニックスマートアプリの
ダウンロード方法や使い方はこちら
<http://panasonic.jp/pss/ap/>



- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用にはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応OSやサポート機種は上記サイトにてご確認いただけます。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話() -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A故障かな?と思ったら」(本書および取扱説明書 活用ガイド)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名 デジタルカメラ

●品番 DMC-TZ70

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理工賃は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

保証とアフターサービス

よくお読みください

続き

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック LUMIX(ルミックス) ご相談窓口 365日
受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX
フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●パナソニックスマートアプリの使いかたなどのご相談は

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

<http://panasonic.jp/pss/ap/>

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になります。

スマートフォンを使った 無線アクセス機能ご相談窓口 365日
受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル **0120-878-832**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●宅配修理サービスのご案内

(Webサイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。(保証期間内は無料です)

愛情点検

長年ご使用的デジタルカメラの点検を!



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体やACアダプターが破損した
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- ・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

札幌 ☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7
旭川 ☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯広 ☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
函館 ☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241

東北地区

青森 ☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稻村 262-1
秋田 ☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手 ☎(019)645-6130	盛岡市厨川15丁目1-43
宮城 ☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山形 ☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福島 ☎(024)991-9308	郡山市備前館2丁目5

首都圏地区

栃木 ☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬 ☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨城 ☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉 ☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番

川口 ☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
千葉 ☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東京 ☎(03)5303-6901	東京都杉並区本天沼 3丁目43-16
秋葉原 ☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル
立川 ☎(042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1
山梨 ☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川 ☎(045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4
新潟 ☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
<h3>中部地区</h3>	
石川 ☎(076)280-6608	金沢市玉鉢2丁目266番地
富山 ☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井 ☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長野 ☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静岡 ☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛知 ☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐阜 ☎(058)278-6720	岐阜市中鶴4丁目42
三重 ☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

保証とアフターサービス

よくお読みください

続き

近畿地区

滋賀 ☎(077)582-5021 栗東市小柿9丁目4-10
京都 ☎(075)646-2123 京都市南区上鳥羽中河原3番地
大阪 ☎(06)7730-8888 門真市松生町1-15
奈良 ☎(0743)59-2770 大和郡山市筒井町800番地
和歌山 ☎(073)475-2984 和歌山市中島499-1
兵庫 ☎(078)796-3140 神戸市須磨区弥栄台
3丁目13-4

中国地区

鳥取 ☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1
松江 ☎(0852)23-1128 松江市平成町182番地14
出雲 ☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416
浜田 ☎(0855)22-6629 浜田市下府町327-93
岡山 ☎(086)242-6236 岡山市北区野田3丁目20-14
広島 ☎(082)295-5011 広島市西区南観音1丁目13-5
山口 ☎(083)973-2720 山口市小郡下郷220-1

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

1114

四国地区

香川 ☎(087)874-3110 高松市国分寺町国分359番地3
徳島 ☎(088)624-0253 徳島市沖浜2丁目36
高知 ☎(088)834-3142 高知市仲田町2-16
愛媛 ☎(089)905-7544 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区

福岡 ☎(092)593-8002 春日市春日公園3丁目48
佐賀 ☎(0952)26-9151 佐賀市鍋島町大字八戸
字上深町3044

長崎 ☎(095)830-1658 長崎市東町1919-1
大分 ☎(097)556-3815 大分市萩原4丁目8-35
宮崎 ☎(0985)63-1213 宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本 ☎(096)367-6067 熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島 ☎(099)246-7050 鹿児島市上谷口町3128-3

沖縄地区

沖縄 ☎(098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理をご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合は原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取扱場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 電池や、消耗または耗耗した部品交換の場合
 - (ヘ) 一般家庭用以外例えば業務用などに使用された場合
 - (ト) 本書のご添付がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のみ負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理してお約束するものです。従つてこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間にについては取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただいたときました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番

DMC-TZ70

保証期間

お買い上げ日から **本体 1年間**
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

※
お買い上げ日

西暦
年 **月** 日

※
お客様

お名前 **西田**
和也
様

電話 () -

住所・販売店名

販売店

電話 () -

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL(06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。